

法人様向け ライスセンターの建設について

年々、農地集積が進むことにより、生産法人のライスセンター建設に対する関心が高まっています。

JA全農にいがたは「施主代行」により、法人様に向けた様々な提案、サポートをおこなっております。本レポートでは「施主代行」の内容と、メリットについてご紹介いたします。

(1) 施主代行とは？

■ 依頼主(施主)が行なう施設建設の発注や工事管理を、JA全農にいがたが施主の立場で支援し、施主と共に施設建設を進めることです。

- ・施設建設には、設計や工事管理など専門的な知識が求められます。
- ・また、県や国の補助事業を活用する場合、多くの事務手続きを求められ、経験の無い方が独力で対応することはとても大変です。
- ・そのため、JA全農にいがたの担当者が責任を持ってこれらの業務を代行いたします。

■具体的な業務内容(一例)

- ライスセンターの設計、建築確認申請などの申請手続き
 - 補助事業における行政対応のサポート
(適正な建築規模・機械設備能力の算定、完成後の検査対応など)
 - 入札などの業者選定の段取りと契約締結
 - 工事の施工管理の実施
 - 工事代金の精算処理
 - 建屋の一年点検などアフターフォローの実施
- など

(2) 施主代行のメリットとは？

施主代行による工事には次のようなメリットがあります。

- その1：経験豊富な職員により、機能性に優れた設計を実現します。
- その2：公平で自由な競争を働かせ施工業者を決定することで、工事費の低減を図ります。
- その3：JA全農にいがたが施主の立場で工事の管理を行い、施工不良の防止や施工業者の責任の明確化に努めます。
- その4：施工業者は、全農独自の総合補償制度に加入します。これにより、確実な工事の履行と完成・引渡しを約束します。

(3) 施主代行 利用者の声

- (農)松岡楽農倶楽部 様 (新発田市)

- 令和4年 ライスセンター建設

①施設を建設して良かったことは？

⇒今までは各個人で作業をしていたが、施設を集約することにより、
効率性が格段に上がりました。

②施主代行を利用して初めての感想は？

⇒行政・施工業者とのやり取り、入札の執行など、自分たちではできないことを代行していただき、安心して任せられました。

③今後、施設の建設を考えている方へアドバイスはありますか？

⇒まずJAに相談することをおすすめします。



◆お問い合わせはJA/JA全農にいがたへ

JA全農にいがたは施設建設を通じて担い手の皆様の支援に取り組んでまいります。農業関連施設の建設をお考えでしたら、お近くのJAまたはJA全農にいがたへお問い合わせください。

(施設農機部 施設課)

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。